



2022年度第2学期終業礼拝式次第

2022年12月3日(土)午前10時00分

司 式 校長 岡野 透
司 会 教頭 今多 学

○聖 歌 82番 (入堂)

○聖 語

司式者 主よ、私たちの口を開いてください
一 同 わたしたちは、主の誉れを現わします
司式者 栄光は父と子と聖霊に
一 同 初めのように今も世々に限りなく

アーメン

○詩 篇

23編 (1～6)

司式者 主はわたしの牧者// わたしは乏しいことがない
一 同 神はわたしを緑の牧場に伏させ// 憩いの水辺に伴われる
司式者 神はわたしの魂を生き返らせ// み名のゆえにわたしを正しい道に導かれる
一 同 たとえ死の陰の谷を歩んでも、わたしは災いを恐れない//
あなたがわたしとともにおられ、あなたの鞭と杖はわたしを導く
司式者 あなたは敵の見ていたる前でわたしのために食卓を整え// わたしの頭に
油を注ぎ、わたしの杯を満たされる
一 同 神の恵みと慈しみは、生きている限り、わたしに伴い//わたしは
永遠に主の家に住む
司式者 栄光は父と子と聖霊に
一 同 初めのように、今も世々に限りなく

アーメン

○聖 書

ルカによる福音書 11章1～13節

岩城 優有

○主の祈り

天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおりに、地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしください。わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救い下さい。
国と力と栄光は、永遠にあなたのものです

アーメン

○校歌斉唱

○表 彰

○50周年記念寄付金贈呈

父母の会代表

○式 辞

高等部3年1組 担任 倉品 衛
高等部3年2組 担任 平塚 斐女

○送別の祈り (帰国生のために)

○立教英国学院特祷

真理と愛の源であり、すべての人の造り主、万民の父である全能の神よ。わたしたちが常に正しい理想(ねがい)を失うことなく、知恵と一致を得るのは、ただあなたの恵みにほかありません。どうか、み名によって建てられた立教英国学院を見守り、その全ての行いを祝福し導きのみ手を差しのべ、ますます学院の徳を確かなものとし、常に変わることの無い主の栄光を輝かすことが出来ますように。また、教える者と学ぶ者とを祝福し、共に知識を深め、主の真理と愛とを悟らせ、常に謙遜の心を抱いて、唯一の父である主を仰ぎ、互いにいたわり、互いに励まし合うことが出来ますように。み子、わたしたちの救い主イエス・キリストによってお願いいたします。

○祝 祷

○聖 歌

282番 (退堂)

校歌

作詞 康

1. 東雲さむる丘の上 春の光のみつるとき
信もて集う若人が 呼ぶや希望と愛のうた
2. マロニエ並木落葉して 梢に高き北斗星
真理の門を叩けやと ささやく如くまたたきぬ
3. ここ南英の学び舎に 愛の訓えの帯をしめ
もろ国人を友として 行くべき道を究めなん
4. 世界の平和成らんとき 栄光とわにあれかしと
ともにたたえんわが母校 立教英国学院を

1. 詩篇57及び108 2. Pallinghurst Hill といふこの地名 3. 信仰と希望と愛と(コリント前十三章) 4. 門を叩けさらば開かれん(マタイ傳七章) 5. 第三節は國際人を日ざすために。 6. 愛は徳を全うする帯(コロサイ書三章) 7. 地には平和(ルカ傳二章) 幸なるかな平和ならしむる者(マタイ傳五章) 以上の精神をこめて歌詞は作られた。

The following is a translation of the School Song of Rikkyo School in England, each verse rendered in the same 7-5-7-5 syllable pattern as the original Japanese.

1. Atop our hill, dawn's breaking:
Let us greet the sun
All the world now seems bathed in
The fresh Light of Spring.
Voices young are raised in song,
In truth hearts are one-
Ever seeking faith and hope,
And love, above all.
2. The chestnut trees in a row,
Autumn's falling leaves-
High above the treetops there
The North Star shines bright.
Is it whispering to us now,
Twinkling all the while?
"Knock ye at the Gate of Truth:
Opened it shall be."
3. Here in Southern England stands,
'Midst the hills, our school.
Day by day 'tis girding us
With precepts of love;
And binding us in friendship
With men of all lands-
To search and find together
The way we should go.
4. Then when peace does truly come
To our world at last,
Glory be in the highest
To God forever!
Then too we'll sing praises to
Our Alma Mater.
To Rikkyo School in England
Our hearts will be true.

By Gene S. Lehman
Rikkyo University

- 【冬季休暇中の誕生日】
- 12月4日 P6 石原 湊介
M1 アネルズ 彪 フランシス
H2-2 佐藤 竜太
 - 12月11日 M3 鈴木 理恩
 - 12月17日 H2-2 石川 真衣
M2 田中 祥
教員 植 玲音
 - 12月18日 H3-1 石川 柊太
 - 12月19日 H2-1 木原 康晴
教員 西條 和幸
 - 12月20日 M2 増田 結心
 - 12月25日 H3-1 関 勇斗
教員 スパージュン 佳良子
 - 12月26日 H3-2 片山 英恵
 - 12月30日 H3-1 永田 裕樹
 - 1月6日 H2-1 藤野 雄豪